

事業番号

0026

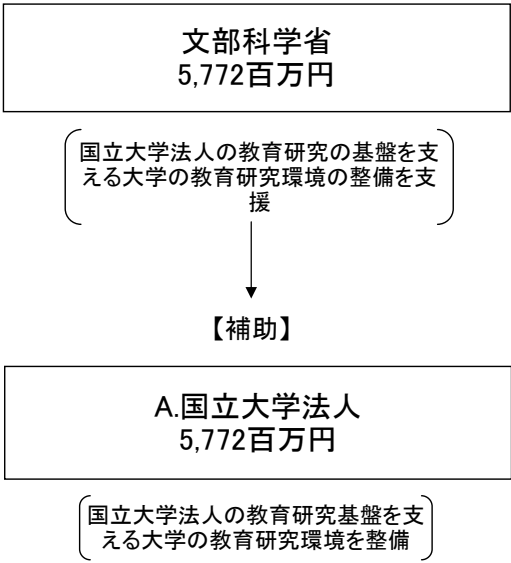
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	大学教育研究特別整備費	担当部局庁	高等教育局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度	担当課室	国立大学法人支援課	国立大学法人支援課長 芦立 訓				
会計区分	一般会計	施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上 IV-2大学などにおける教育研究基盤の整備 IX-1学術研究の振興					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国立大学法人法(平成15年法律第112号)第35条において準用する独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条	関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定) 新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定) 国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて(平成21年6月5日文部科学大臣通知) 第2期中期目標(平成22年3月29日文部科学大臣提示) 第2期中期計画(平成22年3月31日文部科学大臣認可)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立大学における教育研究の活性化を図るため、その基盤を支える大学の教育研究環境の整備を支援し、もって国立大学における教育研究の一層の活性化を図ることを目的とするものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記目的を達成するため、以下の施設等整備を実施するために必要な経費の補助(定額補助)を行う。 ①教育研究組織体制の整備 ②教育カリキュラムの充実 ③企業や自治体との連携 ④大学間連携・共同実施 ⑤その他大学の機能強化充実							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	5,772	4,300	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	-	5,772	4,300	
	執行額		-	-	-			
執行率(%)		-	-	-				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	※教育研究の推進のために必要な基盤的な設備を整備するための経費の補助であり、定量的な成果目標・業績を示すことはなじまない。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	教育研究の基盤的な設備の整備件数		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	(-) (-)
単位当たり コスト	(円/)		算出根拠	※各法人により整備する設備が異なるため、単純に単位当たりのコストを記載することはなじまない。				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	国立大学法人施設整備費補助金	5,772百万円	4,300百万円	※積算及び対象件数の見直し等による減				
	計	5,772百万円	4,300百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・本事業により、国立大学の教育研究環境が整備され、教育研究の一層の活性化が期待される。 ・経費の執行に関しては、各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行う予定である。		
予算監視・効率化チームの所見			
－	本事業は、執行面における課題もない。また、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

(注)当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.国立大学法人			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	教育研究環境の整備	5,772			
	計		5,772	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0